

都市計画マスタープラン地域別懇談会について

第9回 都市計画マスタープラン改定専門部会

平成28年9月27日(火)

長野市都市計画マスタープラン改定に関する地域懇談会

○実施概要

1. 実施目的

- ・ 長野市都市計画マスタープラン改定にあたり、まちづくりに関する各地域の課題等の把握
- ・ 中間報告としてH28年4月に公表した平成27年度までの改定作業経過の概要説明

2. 実施方法

- ・ 住民自治協議会単位で、地域の代表者を対象に、市内全域32地区で開催

3. 実施期間・時期

平成28年6月7日～7月22日

	日付	地区名	資料 配布数
1	6月7日	朝陽地区	25
2	6月7日	更北地区	10
3	6月9日	川中島地区	30
4	6月10日	芹田地区	30
5	6月10日	松代地区	30
6	6月11日	浅川地区	40
7	6月14日	大豆島地区	16
8	6月15日	若穂地区	25
9	6月15日	第一地区	21
10	6月15日	小田切地区	16
11	6月15日	鬼無里地区	30
12	6月16日	豊野地区	16
13	6月17日	吉田地区	21
14	6月20日	若槻地区	37
15	6月21日	第四地区	10
16	6月21日	芋井地区	15

	日付	地区名	資料 配布数
17	6月23日	信更地区	35
18	6月23日	戸隠地区	40
19	6月24日	三輪地区	35
20	6月24日	第五地区	7
21	6月24日	七二会地区	20
22	6月28日	大岡地区	25
23	7月6日	古里地区	40
24	7月6日	篠ノ井地区	30
25	7月11日	安茂里支所	15
26	7月13日	古牧地区	10
27	7月13日	中条地区	40
28	7月14日	長沼地区	15
29	7月15日	第二地区	19
30	7月20日	柳原支所	20
31	7月20日	第三地区	15
32	7月22日	信州新町地区	25
合計			763

地域別集計表の凡例

	項 目	意 味
分類	地域特性	地域別街づくり構想の記載項目に振分け
	拠点の形成	
	都市機能	
	土地利用	
	道路	
	交通	
	自然環境・都市環境・景観	
	防災・安全	
素案への反映	反映	意見要望内容を素案に反映するもの
	検討	意見要望内容の一部又は考え方について検討し、素案に反映するもの
	参考	意見要望内容の一部又は考え方について、素案策定の参考とするもの
		感想・質問等であり、素案に反映しないもの
反映箇所	表現・記載方法	表現・記載方法について、分かりやすさを工夫したもの
	全体都市づくり構想	都市計画マスタープランの記載項目に振分け
	地域別街づくり構想 実現化に向けて	

地区	地区の質問意見	市の考え方	分類	素案への反映	反映箇所
第一	資料3(2)に「善光寺～」という記載があるが、地域住民の日々の生活と善光寺は関係がない。善光寺中心に書かれているが、コンパクトシティの根本には住民の生活があり、住民のためのものだと思う。	(2)地域の街づくりの目標の記載について、地域の皆さまの理解しやすいものにしたいと考えています。	拠点の形成	検討	表現・記載方法
第一	中心市街地の話はよく出るが、中心市街地と言われるのは善光寺から長野駅までは商業が中心の地域であり、周辺の住民にはあまり関係がない。	まちづくりは、中心市街地だけでなく、隣接地域や周辺地域との連携が重要と考えており、地域の特性を活かした構想にしたいと考えています。	拠点の形成	参考	地域別街づくり構想
第一	この場で意見を聞いたり、意見用紙で意見を求めているが、出した意見に対して回答はもらえるのか。	意見に対する市の考え方を含め、素案を公表し、パブリックコメント等で意見を聴取する予定です。	その他		
第一	人口減少には就職先がないことが問題だと思う。企業誘致も平行してやっていくべきではないか。	定住人口、交流人口増加のために、重要なことであると考えており、関係部局の計画や意見等を踏まえ、実現化方策について検討します。	土地利用	参考	全体都市づくり構想
第一	具体的な施策がなければ絵に描いた餅になってしまうと思う。	施策の提案等を含め、実現化方策について掲載予定です。	その他	反映	実現化に向けて
第一	第一地区から第五地区をまとめて長野中央区と呼んでいるのか。(以前、市職員が会議で使っていた)		その他		
第二	意見が聞きたいということであるが、対象はどこまでの地域になるのか。第二地区内だけでいいのか。	住民自治協議会32地区毎に懇談会を開催し、第二地区を中心とした内容でお願いしたい。	その他		
第二	用途地域と土地利用の現状が合っていない場所(住宅ばかりの商業地域等)がある。そのような場所の用途地域の変更について、都市計画マスタープランでは関連があるのか。	都市計画マスタープランでは、街づくりの方針を示しています。用途地域の不整合については、地域の現況調査や地域の街づくりの課題などを総合的に検討し、変更の必要性を検討していきます。	土地利用	検討	地域別街づくり構想
第二	コンパクトなまちづくりは素敵なことだとは思いますが、都市が骨格だとすると、交通は体液のようなものだと思う。箱清水区は住環境としての環境はよいが、傾斜地であるため車の運転の出来ない人には厳しい地域である。	他部局で策定している交通計画と連携を図り、都市計画マスタープランにも公共交通に関する記載をしていきます。	交通	反映	全体都市づくり構想
第二	空き家とは、市としてどのように定義しているのか。最近、市から空き家調査について地区に調査の依頼があったが、この資料にも「空き家または空き家的な利用」と書かれている。どのような状態が空き家なのか基準がなければ調べようがない。例えば第二地区は古い町であるので、一つの世帯で複数の家屋を所持・管理している場合がある。その場合は、毎日生活していない家屋であっても、きちんと管理していることもある。水道使用量から戸数が分かっているのならば、空き家調査はやめればよい。	資料の「空き家または空き家的な利用」は、水道使用量等を地区毎に集計し、地域の土地利用状況の観点として示しています。他部局で実施している空き家調査は、住環境整備や空き家利用の検討等の具体的な対策のための実態調査となります。	土地利用		
第二	産業政策課からも空き家調査の依頼がきていたが、それとも違うのか。	空き店舗の調査と思われます。	土地利用		
第二	第二地区の最大の特徴はエリア内に善光寺とこれに接する城山公園があることである。この一帯を将来どのような位置付けにしていくのが良いのか、単に観光地として文化・自然を語るのではなく、この地域一帯が長野市民にとって重要な憩いの場でありコミュニティー活動の場であること、また防災上極めて重要な空間であることを確認しておく必要がある。	善光寺周辺の文化・公園施設は、都市の重要な資産であり、これらを連携させる街づくりは、都市の魅力を向上させるものと考えます。地域街づくり構想策定では、街づくりに関する考え方の記載について反映していきます。	都市機能	反映	地域別街づくり構想
第二	地形的特徴として背後に大峰山・地附山が迫っている。緑地帯として魅力的であるか、丘陵地に大規模な宅地開発が行われており、将来にわたり生活の為に利便性確保をいかにしていくかを都市計画の段階で検討していく必要がある。	市街地を取り囲む自然環境は、市における重要な資産であり、それを保全することが「長野市らしさ」を表す重要な要素であると考えています。地域街づくり構想策定では、街づくりに関する考え方の記載について反映していきます。	自然環境・都市環境・景観	反映	地域別街づくり構想
第二	地域の特徴として、善光寺を中心とした古い町並みで道路が狭く、古い木造建築が多数混在している地区が広く存在している。防災上も利便性も問題があり、いずれ再開発していかなければならないと思われるが、この一帯の位置付けと将来ビジョンが必要である。	善光寺周辺の街並みは保全すべきものと防災上や利便性において再整備が必要なものが混在している状況なので、関係部局の計画や意見等を踏まえ、検討します。	拠点の形成	検討	地域別街づくり構想
第二	善光寺北側の箱清水・滝・上松・湯谷は現在低層住宅地として存在しているが、将来にわたり住宅地域として利便性を保っていくには経済圏を広げる必要がある。したがって三輪地域・若槻浅川地域を一体的に考え交通網の構築をする必要があると思われる。	少子高齢化人口減少社会における施策として、隣接する地域拠点間を公共交通を中心としたネットワークで連携した街づくりは、重要な施策と考えています。実現化方策については関係部局と調整を図っていきます。	交通	検討	全体都市づくり構想
第二	三輪田町・淀ヶ橋地域に近年マンション建築が盛んであり、売れ行きも極めて順調と聞いている。これはこの地域の利便性が高いことを市場が認めているからである。具体的には駅やバス停が近く公共交通網が充実していて、商店街も近く、周囲に学校が多く、近くに総合病院もあり開業医も点在している、比較的静かである等の環境が挙げられる。不足している点を補い将来にわたりモデル的な居住地として推進するのがよいのではないか。	生活利便施設や公共交通網が充実した区域では、今後もこれらの機能を維持向上させる取組みとして、立地適正化計画の策定では、居住誘導区域と位置付けていくことを考えております。	都市機能	反映	全体都市づくり構想

地区	地区の質問意見	市の考え方	分類	素案への反映	反映箇所
第二	この地域の将来整備は交通網の体系と一体的に考えなければならないと思われる。	少子高齢化人口減少社会における施策として、隣接する地域拠点間を公共交通を中心としたネットワークで連携した街づくりは、重要な施策と考えています。 実現化方策については関係部局と調整を図っていきます。	交通	検討	全体都市づくり構想
第二	マイカー依存から脱却できる都市型の整備が必要と思われる。	マイカー依存から脱却するには、「歩いて暮らせる街」から「歩きたくなる街」へ街づくりを進めていく事が重要と考えます。 実現化方策については、関係部局と調整を図っていきます。	交通	検討	全体都市づくり構想
第二	第一地区・第二地区には信州大学や県立高校、清泉女学院等の学校が多く、信濃美術館もあることから、この地区を文教地区と位置付け、市立郷土歴史館・科学館・まつり博物館・野外音楽堂、古典芸能館などを建設し、市民の文化向上に寄与できる地域にするのが良いと思われる。	歴史・文化・芸術など文教施設が集積しており、これら施設の活用と連携した街づくりは、都市の魅力向上に資するものと考えます。 地域街づくり構想策定では、街づくりに関する考え方の記載について反映していきます。	拠点の形成	検討	地域別街づくり構想
第二	近年、善光寺周辺は高層建築が建ち並び、街の景観が著しく損なわれていく傾向にあり、門前町としての歴史が街並みに感じられない。そのため観光客がもう一度来て見たくなるような町となっていない。	自然・歴史・文化などの地域特性を活かした地域づくりとして、歴史的街並みの保全と住環境の調和は、長野らしい特色ある地域づくりに繋がるものと考えております。 地域街づくり構想策定では、街づくりに関する考え方の記載について検討していきます。	地域特性	検討	地域別街づくり構想
第二	現行の都市計画は現実の社会経済状況の動向に対応しているだけであり、50年から100年単位の未来の住民生活と社会情勢を見据えた街づくりの構想が不足している。	都市計画は、目標の実現には時間を要するものであることから、中長期的な見通しをもって定める必要のありますが、都市計画マスタープランの目標年次は、都市計画運用指針等で、示されている様に20年後を想定し、策定しています。	その他	参考	全体都市づくり構想
第二	善光寺には地域住民と共存共栄する立場としての理解と協力働きかける必要がある。		その他		
第二	中心市街地は、善光寺を中心に歴史と文化と自然が感じられ、落ち着いた雰囲気の中で人々に安らぎと癒しをもたらす町であり、国内や世界各国から観光客が何度も訪れる町とする。特に首都圏から1時間程度の地の利を生かし都会人のオアシス的な街とする。	まちづくりは、中心市街地だけでなく、隣接地域や周辺地域との連携が重要と考えており、地域の特性を活かした構想にしたいと考えています。	自然環境・都市環境・景観	参考	全体都市づくり構想
第二	自然と調和した街並みをつくるために、地上部は古き良き時代の建物（低層のものに限る）の保存を進めるために早急に高層建築物の規制措置を条例化する必要がある。	自然・歴史・文化などの地域特性を活かした地域づくりとして、歴史的街並みの保全と住環境の調和は、長野らしい特色ある地域づくりに繋がるものと考えております。 なお、具体的な規制等については、関係部局と調整を図っていきます。	自然環境・都市環境・景観	参考	地域別街づくり構想
第二	空き家で老朽化している建物は、漆喰塗りや板壁の建物に改修又は建直しをするなど、地域全体で街並みを改修する。（世界遺産を視野に入れるのであれば善光寺の建造物のみでは不足であり、周りの環境づくりが必要である）	自然・歴史・文化などの地域特性を活かした地域づくりとして、歴史的街並みの保全と住環境の調和は、長野らしい特色ある地域づくりに繋がるものと考えております。 実現化方策については、関係部局と調整を図っていきます。	自然環境・都市環境・景観	検討	実現化に向けて
第二	長野駅から昭和通りの区間に大規模な駐車場を整備し善光寺への観光各の動線を変える。（例えば中央通りの地下に2,000台規模の大駐車場を設置する）	中心市街地活性化策として、中央通りと一体となった街づくりを検討していく事も重要と考えます。 関係部局と調整を図り、地域街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	土地利用	参考	全体都市づくり構想
第二	善光寺街道（北国街道）の整備をして歴史を感じる街並みを整備する。	自然・歴史・文化などの地域特性を活かした地域づくりとして、歴史的街並みの保全と住環境の調和は、長野らしい特色ある地域づくりに繋がるものと考えております。	自然環境・都市環境・景観	検討	全体都市づくり構想
第二	今後、官庁・企業関係の建物は長野駅東口に集積し、長野駅から善光寺の区間は出来るだけ企業等の建物は排除する。	この区間の駅に近いエリアでは、高次の広域的都市機能の集積する中心市街地としての役割があるため、中央通り沿いの企業等の建物の排除は困難と考えておりますが、街並みの保全と住環境の調和に配慮した街づくりに向けた取り組みについて、関係部局との調整を図っていきます。	拠点の形成	参考	全体都市づくり構想
第三	生活拠点とあるが、浅川等の団地は高齢化してきている。古戦場の辺り（水沢上庭）を整備したが、20年後には第2の浅川になるような気がする。生活拠点が転々と移動しているだけのように思える。個人の権利もあるので難しいと思うが、昔からの住宅地の後利用（転売等）を考える仕組みが必要ではないか。	市では、線引き制度により、無秩序な市街地の拡大を抑制してきましたが、市街地整備による宅地化では、類似する世帯が、居住する傾向があり、ご指摘のような状況になっている地域もあります。 今後は、立地適正化計画等により、利便性高い既存住宅地に、居住を誘導する取り組みをしていきます。 また、実現化方策については、関係部局と調整を図っていきます。	土地利用	検討	全体都市づくり構想
第三	コンパクトシティ等について話し合う機会を設けて欲しい。	出前講座を利用させていただきたい。	その他		
第三	いきいきトークのテーマがまさに「コンパクトシティ」なので、その中でも議論したい。		その他		

地区	地区の質問意見	市の考え方	分類	素案への反映	反映箇所
第三	前回はどのように地区に説明したのか。	前回は大きなブロックごとに地区割りをして説明をしたが、今回は、住自協32地区に説明しています。	その他		
第三	このような長い目標の計画は、早めに住自協に話してもらえれば、議論しやすい。	意見用紙による意見・要望の提出や素案に対するパブリックコメントによる意見聴取を想定しています。	その他		
第四	官公庁施設は集積しているが、生活利便施設は郊外へ出て行ってしまって全く集積していない。病院や小学校等がなく、また交通の便も悪いので高齢者等生活が不便である。	当該地区の様な都市機能を充実すべき区域では、これらの機能を維持向上させる取組みが必要と考えております。関係部局と調整を図り、地域街づくり構想策定への記載を検討します。	都市機能	検討	地域別街づくり構想
第四	この都市計画マスタープランは、どの都市でもあてはまる内容で長野市らしさを感じられない。地域の実態がわかっていない東京のコンサルに依頼すると、耳障りの良い言葉を並べたような計画になる。地域目線の都市計画マスタープランを作成して欲しい。	地域別街づくり構想では、地域の状況や課題について判り易い記載を検討し、長野らしさを感じられる様に都市計画マスタープランの記載を検討します。	その他	検討	表現・記載方法
第四	計画は10年前からあるのに、地区の現状は変わっていない。どうして改善されないのか検証した上で計画を立てて欲しい。市街地域の活性化がなければ長野市の将来はないという思いで計画の策定をお願いしたい。	地区の現状や改善策を検証し、市街地活性化策について、記載を検討します。地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	土地利用	参考	地域別街づくり構想
第四	地区が高齢化している。道路が狭くシルバーカーの通行に支障があったり、生活必需品を購入する店舗もない状況であるため、住みやすい場所にして欲しい。	立地適正化計画の不足する施設を誘導する考え方にも通じており、地域の生活利便性について、地域街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	都市機能	参考	地域別街づくり構想
第四	後町小学校の跡地に県立大学の寮が整備されるが、1年間で全員が入れ替わってってしまう。毎年300人近くの学生の動きがあるが、学生に当地区を気に入ってもらい定住してもらえよう方策を考える必要がある。	歩いて暮らせる生活圏の形成や活力と魅力を備えた中心市街地の形成のため、まちなか居住促進策に関する提案として、地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	土地利用	参考	地域別街づくり構想
第四	中心市街地を活性化したいなら、郊外よりも中心市街地の税金を安くするぐらいのことをして欲しい。	施策の提案として、参考とさせていただきます。	その他	参考	
第五	中央通り新田町から南の部分の石畳化の方向性はどうか。地元は実現に向け期待している。	長野駅から善光寺の中央通りでは、歩行者と公共交通を優先化した歩行者優先化を検討しております。今後の整備や管理方法について、長野県や関係部局と調整していきます。	道路	参考	地域別街づくり構想
第五	岡田町・中御所地区は高齢者が多く空き家が目立っている。住む人が居なくなった空き家の中には、土地と建物の所有権が違うことで、権利調整がうまくいかずに、新しい入居者を入れられないケース（借地に建物を建てている等）がある。	土地利用に関する地域の現状と課題として、地域街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	土地利用	参考	地域別街づくり構想
第五	富山市等がモデルとなっているコンパクトシティ構想については理屈としては良いが、実現可能なのかと疑問である。	コンパクトシティ構想は、人口減少社会に対応した持続可能な街づくり計画です。この計画策定では、現状分析と将来予測により、都市のコンパクト化に向けた取組みを進めていくものです。長野市にあった実現可能な持続可能な街づくり計画を検討します。	土地利用	参考	全体都市づくり構想
第五	北石堂町では大型店が郊外に出来てしまい、中心市街地の個人商店が衰退している状況である。今後予定されているイキイキトークでは「長野市版のコンパクトシティ」を議題にしたいと考えている。		その他		
第五	東急の駐車場の周辺や県町の周辺等、道路が整備されておらず建替えができない敷地があり、活性化の支障になっている。長野駅の東口等は、大きな道路が整備され民間企業がマンションを建設しているが、当地区は事業化できていない状況にあり歯がゆい。再開発等の手法ではなく、行政が先に道路を整備すれば民間投資がついてくるのではないかな。	長野駅東口では、区画整理事業により、都市計画道路を整備したものです。市街地の道路整備では、街づくりと一体になった整備が重要であると考えています。	拠点の形成	参考	全体都市づくり構想
第五	拠点としてバスターミナル等の中心的な拠点施設の整備が必要ではないか。現状は若里公園の北側の生活道路が高速バスの経路として利用されているが、八十二銀行本店前から東口に通り抜けるアンダーパスの整備が終れば、高速バスの通行経路等も変更され大分良くなるのではないかな。	広域拠点の交通結節点の連携として、地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	交通	参考	地域別街づくり構想
第五	長野市の「山岳風景」を地域の特性として売り出してはどうか。	施策の提案として、参考とさせていただきます。	自然環境・都市環境・	参考	
芹田	地区のまちづくり委員会が、都市計画道路やその他の道路について整備要望をまちづくり市民会議（H25.10.3）等で行っている。その件について、引き続き推進お願いしたい。	交通結節点と都市機能の連携と歩行者・自転車の安全性確保による街づくりとして、地域別街づくり構想策定では、街づくりに関する考え方の記載について検討していきます。	道路	検討	地域別街づくり構想
芹田	もっと具体的な例を示して、市民の視点で話して欲しい。都市計画マスタープランが策定されることによって、市民の生活に直接何か影響がある	地域別街づくり構想の策定では、地域の皆さまの理解しやすいものにした	その他	参考	表現・記載方法
芹田	将来像を見据えて、用途地域や都市計画道路等の見直しも併せて行って欲しい。	都市計画マスタープランの改定作業とは別に検討していきますが、地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	土地利用	参考	地域別街づくり構想

地区	地区の質問意見	市の考え方	分類	素案への反映	反映箇所
古牧	立地適正化とは用途地域を見直し、住宅は住居系、工場は工場系の用途地域へ移動させることか。	緩やかな誘導をにより、居住や都市機能を誘導していくものです。この計画により、用途変更は行なわないものです。	土地利用		
古牧	古牧地区は国道19号やインター線等の大きな道路に囲まれているが、集落の中に入ると狭い道ばかりである。未着手の都市計画道路（中御所平林線）が整備されれば状況も変わると思うが、そういった個別事業の話が示されていないと意見を出すのは難しい。大きなプランではなく、もっと現実味のある話が大切ではないか。	古牧地区では、狭隘な生活道路が多いため、地域街づくり構想策定では、道路基盤の不足や地域防災の観点等について、街づくりに関する考え方の記載について検討していきます。	道路	検討	地域別街づくり構想
古牧	都市計画として何をやるのかが見えてこない。古牧地区には商業系の用途地域はないが、過日大型店舗が出店した。こうなると個人商店が立ち行かなくなり閉店してしまう。高齢者の買い物に大きな支障が出ることになる。高齢化は今後の地区活動に大きな支障となるが、市の具体案がなければ意見も出せない。地区の問題として一つ例を挙げれば、古牧には公民館を建てる土地もない。住民自治協の事務所を市で用意して欲しいくらいである。このような話は都市計画の仕事でないとなればそれまでだが、ではどこに要望をだせばいいのだろうか。	地域別街づくり構想策定では、地域課題として記載を検討していきます。	土地利用	検討	地域別街づくり構想
古牧	・古牧地区は幹線道路R18, R19, R406, インター線、高田若槻線が通り交通の要所となっている。このため、古牧住自協として交通安全には積極的に取り組んでいる。しかしながら幹線に囲まれた中の生活道路は土地区画整理事業等が行われた一部地区を除き、大変狭く交通事故の危険がある。現在工事中の高田若槻線が長野市北部と連結されると古牧地区のR19、R406交差点で交通渋滞が発生し、迂回する車により生活道路での安全が危惧される。	都市計画道路は、交通機能の強化や防災機能の確保など都市機能を増進させる重要な都市施設として、地域と連携しながら、計画的に整備を進めております。頂いた意見は、地域別街づくり構想策定では、地域課題として記載を検討していきます。	道路	検討	地域別街づくり構想
古牧	1 古牧公民館の狭隘問題 周知のとおり古牧公民館は「公民館」「市・古牧支所」「住民自治協議会事務局」「福祉関係事務員」「古牧地区ボランティアセンター」が入居している。会議のできる室は3部屋ある。古牧住民が一堂に会して行う自治活動事業や各自治活動団体が行う諸会議では、参加人数制限を設けたり、会議日程調整に苦労したりと、大変な状況にある。例えば、古牧ボランティア・センター。現状はボランティア・コーナーであり、物理的な環境面ではとてもボランティアセンターとは言えない。ほんわか健康塾“こまき”では、介護予防・健康維持増進活動を推進していこうと志あるスタッフもいるが参加に制限を設けざるを得ない程、狭隘な施設など等、住民の通所型事業推進には極めて大きな課題が横たわっていると云わざるを得ない。また、住民自治協議会の事務局と、福祉ワーカー・助け合い事業コーディネーターが別室であることからその連携に大変不便をかけている。	地域活動の拠点でもある公民館等施設の問題等については、他部局との調整を図り、地域課題として、地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	都市機能	参考	地域別街づくり構想
古牧	2 各区の公民館 地域の住民にとって一番身近で大切な公民館が老朽化していることに加え、1階に大広間がない等、利用ニーズの高い高齢者にとっては大変使いづらい事態になっている。	地域活動の拠点でもある公民館等施設の問題等については、他部局との調整を図り、地域課題として、地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	その他	参考	地域別街づくり構想
古牧	3 公園の整備 区により、公園のニーズが多様化している。公園がない区も有れば、多すぎて清掃活動などに苦慮している区もある。清掃活動のありかたなど公園愛護制度の見直しが必要であろう。	公園の整備や管理等の課題は、担当部署と情報を共有し、地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	その他	参考	地域別街づくり構想
古牧	4 室内スポーツ場建設のニーズ 高齢者が健康で元気に暮らすために公園で、グラウンドゴルフやゲートボールなどを楽しんでいるが、冬季にも活動できるような施設のニーズが高い。古牧地区における当該スポーツ人口は市内地区別にみると一番多い地域ではあるが、活動実態は貧弱と言わざるを得ない。特に冬季は室内競技施設がないことにより冬眠状態である。これからどんどん高齢者人口が増えて行くことを考えると、体力見合い手軽にできるグラウンドゴルフやゲートボールなど地域住民が楽しむことができるように室内スポーツ場の建設が望まれる。	将来的に地区内の高齢者人口増加が予測されることを踏まえ、地域の中で健康で生き甲斐をもって活動できる街づくりについて、関係部局と調整し、地域街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	都市機能	参考	地域別街づくり構想

地区	地区の質問意見	市の考え方	分類	素案への反映	反映箇所
古牧	・計画にある幹線道路だけではなく狭隘な生活道路の改善を都市計画マスタープランに盛り込んでいただきたい。なお、スムーズな交通の流れを確保するため、高田若槻線のR19から南の延伸が早期にできるよう計画をお願いします。	現行都市計画マスタープランにおいても、狭隘な生活道路の改善により良好な住環境、防災性、利便性等の向上を図るとしてしています。今回の改定においても、生活道路にの改善について記載していきます。	道路	反映	地域別街づくり構想
古牧	1 市・古牧支所機能と公民館活動を含む自治活動機能とを物理的に分けた設備を持ちたい。	地域活動の拠点でもある公民館等施設の問題等については、他部局との調整を図り、地域課題として、地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	その他	参考	地域別街づくり構想
古牧	2 各区の公民館を、利用ニーズの高いお年寄りと幼児（古牧は全ての区公民館で子育て広場を開催している）が安全に利用できるよう整備したい。市・福祉政策課、介護保健課が推進している介護予防・高齢者に対する新総合事業への本格的な取組みとして古牧では各区の公民館で“健康塾”の開校を目指している。	地域活動の拠点でもある公民館等施設の問題等については、他部局との調整を図り、地域課題として、地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	その他	参考	地域別街づくり構想
古牧	3 子どもたちの通学路を見直し、通学路の安全を担保したい。	地域の安心安全や子育ての課題として、他部局との調整を図り、地域課題として、地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	道路	参考	地域別街づくり構想
三輪	居住誘導区域の具体的な政策はあるのか。優遇税制や住宅の取得補助等具体的な施策がないと絵に描いた餅になってしまうのではないのか。	居住に適した区域を居住誘導区域として明示し、市民が選択していく緩やかな誘導施策と位置付けてしています。	その他		
三輪	地域が高齢化している。先ほどの説明で三輪地区は公共交通が便利だと言ったが、実際は違う。路線バスは段差が多く、本郷駅はエレベーターが設置されておらず、高齢者は使用できない。使いやすい公共交通とし、高齢者を含めた市民全体が利用できるようなしなないといけない。	公共交通の現状分析の参考とします。公共交通サービスの提供に関して、関係部局と調整し、利便性向上に向けた取り組みについて、関係部局と調整を図り、地域街づくり構想策定への記載を検討していきます。	交通	検討	全体都市づくり構想
三輪	空き家が増えている。老夫婦が二人揃っているうちは良いが、どちらかが亡くなり一人になると施設に直ぐに入ってしまう空き家になってしまう。向こう10年のことを思うと心配である。	地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	土地利用	参考	地域別街づくり構想
三輪	地域ごとの計画を積み重ねて全体の計画とする手法はいかなものか。若年世代を誘致するための学校誘致や工場等の働き口の誘致を長野市全体でやるべきではないか。	平成27年度に全体構想を策定し、この目標や方針を基に、地域別街づくり構想を策定しております。学校や企業誘致については、関係部局と調整を図り、地域街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	土地利用	参考	地域別街づくり構想
三輪	市営住宅の返目団地の改修・建替えの計画はないのか。弁天公園の整備計画はないのか。三輪地区の書き込みが他地区と比べ少ないように思える。	実現化方策については、関係部局と調整を図っていきます。	都市機能	参考	地域別街づくり構想
吉田	北長野駅前の構想、具体的な計画等はあるのか。平成20年ごろ、吉田地区は文化教養地区としてのまちづくりを目指して市に要望を行った経緯がある。その際に若槻の清泉をSBC通りに誘致するという構想があったが、市の予算がなくダメになった。そして現在に至るが、また北長野駅周辺の整備を中心に再スタートしたい。しなの鉄道との関係についても、昨年、本社に訪訪して駅前の整備については調整を申し入れてある。また近々に吉田町でアンケートを行う予定があり、結果については支所を通じて確認もりたい。間に合えば都市計画マスタープランへの反映を検討するとよいのではないのか。吉田は古い町である。歩道がない道が多い。グリーンベルトや側溝の整備はしてもらっている所もあるが、本格的に整備するにはお金がかかる。文教まちづくりの構想の際も歩いて回遊してもらおうと考えていたが、その前に安全安心に課題があることも分かった。北長野通りは道路が狭いので、10年以上前から要望している。	コンパクト+ネットワークによる街づくりは、人口減少社会における施策であり、隣接する地域拠点間を公共交通を中心としたネットワークで連携することにより、一体的なまちづくりとするものであり、交通網の充実は重要な要素と考えています。関係機関や地域の皆さまと調整を図り、北長野駅の交通結節点機能を向上について検討していきます。また、北長野通りや狭隘な生活道路が多く、歩行者・自転車の安全性向上や地域防災の観点等について、地域別街づくり構想策定への記載を検討します。	道路	検討	地域別街づくり構想
吉田	古いまちのエリアでは、空き家はぼちぼちと出てきていると感じるが、そんなに急速に空き家が増加している感じではない。案外、空き家になってもまた入居者が来るのではないのか。吉田地区は生活がしやすいと思うし、新しい人も入ってくる。30年前から住んでいるような古くからいる人は地区で半分くらいという調査もあった。	地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	土地利用	参考	地域別街づくり構想
吉田	鍋屋や中越等、吉田地区でも中心から少し離れたような地区で、一昔前に団地で住宅開発されたような所では、徐々に高齢化が進んでいることは確か。このまま一斉に高齢化が進み、急に空き家が増えるのではないのかという危惧はある。	地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	土地利用	参考	地域別街づくり構想

地区	地区の質問意見	市の考え方	分類	素案への反映	反映箇所
吉田	北長野駅周辺ユニバーサルデザイン基本構想 ・UD化してほしいところ 1 北長野駅前広場 1) 都市計画決定がされており、建物を建てるのが制限されている。 2) 駅前から北側道路へ真っ直ぐ横断できないようにフェンスで仕切る。 3) JRの宿舎を撤却してもらう。 4) 現在の駅北側、西側の仮駐輪場を撤去し、駅東側の新幹線下を駐車場と駐輪場とする。 5) 北長野通りに沿って3メートルの歩道をつける。 6) 駅前に歩道・車道を設ける。歩道は3メートル取り、西側は既存の横断歩道にあわせる。その横にバス乗り入れも可能な4mから5mの車道を設け、車は東から入り、西から出る一方通行とする。また西側水路を西に抜ける歩道とする。 7) ライフ前の交差点の西側横断歩道の幅を西に広げる。 8) 北長野駅交差点の西側横断歩道の幅を西に広げる。 9) 駅前ロータリーを広場にする。 10) 北長野駅前トイレに多目的トイレを設置する。 11) 旧JCの跡地を広場にする。	交通結節点と都市機能向上は、全ての人に優しい街づくりにつながると考えております。提案いただいた各事項については、関係部局と調整し、実現化方策を検討していきます。 地域別街づくり構想策定では、街づくりに関する考え方の記載について検討していきます。	道路	検討	地域別街づくり構想
吉田	2 乗降客4000人／日を超える北長野駅構内のエレベーターの設置 1) 1番線の階段の東側にエレベーター 2) 2・3番線の東側階段はあまり使用していないのでそこにエレベーター	鉄道駅構内の機能向上は、交通事業者と関係部局の調整が必要と考えています。 地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	交通	参考	地域別街づくり構想
吉田	3 列車とホームの隙間と段差をなくす。	鉄道駅構内の機能向上は、交通事業者と関係部局の調整が必要と考えています。	交通	参考	地域別街づくり構想
吉田	4 北長野駅地下道 1) エレベーターの設置 長野日大のある南側は線路の直南で、駐輪場の横に、ライフのある北側は新幹線に直南でしなの鉄道のホーム内から北側の広場に設置。 2) 北長野駅地下道南側のスロープ・階段を緩やかに ①天井高が2.5MあるのでGLを嵩上げする。 ②南側の道路に向って、勾配をできる限り緩やかに延長していく。外部には融雪装置を設置する。 ③地下道の壁の絵を新しいものにし、児童生徒の作品を展示する。	鉄道駅周辺の街づくりの取組みは、関係部局の調整が必要と考えています。 地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	道路	参考	地域別街づくり構想
吉田	5 東急ライフ・ノルテ周辺 1) 点字ブロックの整備をする。(ワイワイドームの下になっている) 2) 歩道の凹凸を整備する。 3) ライフ西側道路を歩道にしてノルテ、信濃吉田駅につなげる。 4) 西側デッキ下の自転車を撤去し、別なところに駐輪場を設置する。 5) 通学路である北長野交差点から吉田小学校まで歩道の除雪をする。	鉄道駅周辺の街づくりの取組みは、関係部局の調整が必要と考えています。 地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	道路	参考	地域別街づくり構想
吉田	6 吉田駅周辺 1) 駐輪場を南側に新設する。 2) 信濃吉田駅北側から東の辰巳公園へ歩道の整備をする。	鉄道駅周辺の街づくりの取組みは、関係部局の調整が必要と考えています。 地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	道路	参考	地域別街づくり構想
吉田	7 上松吉田線から東の辰巳公園へ歩道の整備をする。	地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	道路	参考	地域別街づくり構想
吉田	8 辰巳隧道 辰巳隧道は、歩きにくいという高齢者からの苦情が多い。歩道の天井を取り払い、電灯を直付けにし、スロープをかさ上げして、勾配を更に緩くし、歩きやすくする。	地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	道路	参考	地域別街づくり構想
吉田	9 SBC通り本町交差点から東の北側歩道に点字ブロックを設置する。	地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	道路	参考	地域別街づくり構想
吉田	10 若槻大通りに点字ブロックを設置する。	地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	道路	参考	地域別街づくり構想
吉田	11 全ての交差点にエスコートゾーンを設置する。当面、北長野駅前、吉田小学校前、吉田小学校西、吉田3丁目、長野吉田高校東、運動公園北口と運動公園交差点に設置する。また北長野駅交差点に、歩車分離の音声案内を設置する。	地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	道路	参考	地域別街づくり構想
古里	意見というのは、北部幹線の県道から先線の早期着手要望や千曲大橋の計画決定、農振地域の解除要望といったものでも良いのか。	都市計画マスタープランの主旨は、具体的な要望について、全て記載するものでないものですが、地域の課題を意見としていただき、地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	土地利用	参考	地域別街づくり構想

地区	地区の質問意見	市の考え方	分類	素案への反映	反映箇所
古里	資料1の都市機能の説明について、地域拠点にある都市機能とは何を指すのか。	医療施設や商業施設、公共施設等の便民施設が該当します。	都市機能		
古里	北長野が地域拠点になっているということは、今後、そこに病院や公共施設を今後建設していくのか。また財政的な裏付けになるのか。	積極的に建設していくという位置付けではなく、現況や土地利用を考慮して設定しており、都市機能を誘導していく事を想定しているものです。	拠点の形成		
古里	現状から何がどれだけ変わるのかが分かりにくい。	現状と将来像について、地域の皆さまの理解しやすいものになりたいと考えています。	その他	参考	表現・記載方法
古里	交流軸とは何を示すものか。	各拠点間の都市機能の集積と連携を確保する鉄道や道路の交通網を示すものです。	その他		
古里	交流軸の周りに何を配置するとか、どのようにしていくのか等の市の考えを示して欲しい。	地域の皆さまの理解しやすいものになりたいと考えています。	拠点の形成	参考	表現・記載方法
古里	コンパクトシティの考え方や進めることは理解できるが、その結果として地域がどのようなようになるのかがイメージできないので、イメージできる資料が欲しい。	地域の皆さまの理解しやすいものになりたいと考えています。	土地利用	参考	表現・記載方法
柳原	東外環状線が整備されれば、状況が変わってくる場所もある。	地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	道路	参考	地域別街づくり
柳原	市民病院は現行都市計画マスタープランの方針でやってきたのか。	当時の方針では具体的に連携していませんでした。今回の立地適正化計画では、医療施設など都市機能と連携した計画策定となります。	都市機能		
柳原	市報で公表しているか。	現行都市計画マスタープランは、市報や市HPでも公表しています。今回の改訂に係る中間報告も市HPで公表している。今後、素案作成後にパブリックコメントという形で市ホームページ等で公表することを予定しています。	その他		
柳原	平成19年の改定の際の経過を知りたい。	前は大きなブロックごと地区割りして説明しましたが、今回は、32地区の住自協に説明しています。計画案の策定では、有識者等が委員となる第三者機関の専門部会を立ち上げて策定しています。	その他		
柳原	20年後を目標とした計画だが、中高生等の子供たちに意見を聞いて参考としたらどうか。	他部局の計画策定の市民アンケートとして、高校生アンケートを実施していますので、街づくりに結びつくところを参考としていきます。	その他	参考	地域別街づくり構想
浅川	世帯数について、住民基本台帳ベースだと、世帯分離の手続きをしているケース等実態と合わない場合もあるので気をつけて欲しい。	現状分析調査の参考とさせていただきます。	その他	参考	表現・記載方法
浅川	都市計画道路に接している土地が市街化調整区域に指定されていて土地利用ができず不合理だ。	市では、平成12年をピークに人口減少期に入っているため、都市全体の将来像を検討しますと、市街地を拡大する様な土地利用はできない状況であると考えております。	土地利用	参考	地域別街づくり構想
浅川	浅川地区の中山間地域と拠点とを結ぶ公共交通について、連携が本当にできるのか心配がある。対対応策を具体的に示す必要があるのではないか。	コンパクト+ネットワークによる街づくりは、人口減少社会における施策であり、隣接する地域拠点間を公共交通を中心としたネットワークで連携することにより、一体的なまちづくりとするものであり、交通網の充実は重要な要素と考えています。	交通	参考	地域別街づくり構想
浅川	スパイラルの活用や里山地域の形成等具体的なイメージがあると話しやすい。市としての考えが先にあると話がしやすい。	地域の皆さまの理解しやすいものになりたいと考えています。	土地利用	参考	地域別街づくり構想
浅川	中山間地域を切り捨てる計画ではないということでよいか。	当計画は、人口減少社会における施策であり、隣接する地域拠点間を公共交通を中心としたネットワークで連携することにより、一体的なまちづくりとするものです。	その他		
浅川	長野市全体のものではなく、詳細な地区の人口動態について検証して計画を策定して欲しい。	現状分析では、基礎資料として500mメッシュで人口の将来予測を行う等、詳細な分析を行い、計画策定を進めてまいります。	その他		
浅川	年々過疎化が進んでいて、後何年もつか分からない。人口が少しでも増える様な行動が必要かと思われる。	地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	その他	参考	地域別街づくり構想
浅川	長野市からバードラインに行く方々も見受けられるので、道路を拡幅して欲しい。	地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	道路	参考	地域別街づくり構想
大豆島	大豆島地区では、まちづくりとして文化的なことも実施している。今回は土地利用や施設整備等のハードの部分の話に限定したものなのか。バス等の交通網等、具体的なものを示してもらわないと話が見えづらい。まず、市側が大豆島地区をどうしたいのかを示してもらいたい。そうでないと不満をただ言うだけの場になってしまうが、それでいいのか。	現行都市計画マスタープランの地域別街づくり構想の資料を参考に、地域のまちづくりの方向性として、地域から見た課題を意見としていただきたいものです。今回、頂いた意見は、地域街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	その他		
大豆島	国道バイパス整備等は、通過交通が増えるだけで住宅地としてはメリットがない。通過されるだけの地域になってしまうのではないかと危惧している。長野菅平線の渋滞問題等も、住環境を悪化させている一因だと考えている。	地域街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	道路	参考	地域別街づくり構想

地区	地区の質問意見	市の考え方	分類	素案への反映	反映箇所
朝陽	資料2の「空き家」の定義は何か。水道使用量の5㎡は規定があるのか。	空き家と推測される低未利用の建物を抽出するために、地域の現状分析として、独自で設定したものです。	その他		
朝陽	資料5の用途地域について、今回の都市計画マスタープラン改定で変更するのか。	現在の都市計画図を使用しており、指定状況を示しています。都市計画マスタープラン改定作業は、用途地域の変更と直接関係するものではありません。	土地利用		
朝陽	居住誘導区域に設定されるとどうなるのか。また区域の決定後に改めて説明会をするのか。	居住誘導区域外で一定規模の住宅開発等をする場合に届出が必要となります。今後は、説明会を開催せず、計画素案を公表し、パブリックコメントや公聴会などにより、意見聴取をしていく予定です。	土地利用		
若槻	三才～北長野駅間に新駅構想があるので、都市計画マスタープランに書き込みをお願いしたい。	関係部局と調整し、地域街づくり構想策定への記載を検討します。	交通	検討	地域別街づくり構想
若槻	若槻地区は、「農山村地区」、「住宅団地地区」、「沿道商業地区」と多様な地区を包含しており、まさに長野市の縮図といったところである。そのためか、地域の現状で示された数値等は長野市の平均値に近くなるようである。しかし、地区ごとに細かくみると状況はそれぞれ違うので、詳細な検証を行ったうえで計画策定を進めて欲しい。	現状分析では、都市計画基礎調査等の土地利用計画に加え、基礎資料として500mメッシュで人口の将来予測を行う等、詳細な分析を行い、計画策定を進めてまいります。	土地利用		
安茂里	現行都市計画マスタープランの地域別街づくり構想の資料では、都市計画決定された都市施設（山王小柴見線等）と整合しているのか。	都市計画マスタープランに具体的な記載はありませんが、地域全体の防災能力の強化を図る観点等から、整合しているものと考えます。	道路		
安茂里	都市計画マスタープランが策定されることで土地利用規制が発生するものなのか。また、具現化するための財政的な裏付けはあるのか。	都市計画マスタープランでは、街づくりの将来ビジョンを示しており、土地利用規制に係る地域地区等の都市計画決定は、マスタープランの土地利用の方針と整合を図りながら進めていくものです。また、直接的に財政的な裏付けをするものでもありません。	土地利用		
安茂里	国道19号線は歩道が整備がされておらず危険な状況である。都市計画マスタープランの書き込みをお願いしたい。	地域街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	道路	参考	地域別街づくり構想
篠ノ井	五明西寺尾線沿いの市街化調整区域を今後土地利用ができるように市街化編入して欲しい。その周辺が市街化されれば篠ノ井地区はがらっと変わる。	篠ノ井地区については、区画整理による宅地部分譲により、人口が増加していますが、市全体では人口減少が進んでいます。市全体の土地利用で検討していくと市街地の拡大は困難です。幹線道路沿いが市街化されればその地区が変わるということは判りますが、新たな市街化は、既存市街地の空き家の増加等の問題が出てきます。幹線道路沿いの市街化編入については、他地区でも同様の意見がありますが、市街化調整区域は基本的には農業を基盤産業としていただきたい。市街化調整区域で可能な土地利用としていただきたいところです。	土地利用		
	都市計画には都市計画道路等があるが、都市計画マスタープランとの関係性、優先順位はどうなるのか。	都市計画マスタープランは、都市計画の基本的な方針であり、この方針により、都市計画道路等の整備方針と整合していきます。市内の計画決定されている都市計画道路では約4割が未整備であり、残りの整備にも時間を要します。今後も、都市計画道路の見直し等により、整備の優先順位等を検証し、効率的な都市計画道路整備を進めていきます。	道路		
	用途地域の変更は地域住民の合意があれば可能か。以前、篠ノ井総合病院の建替えの時に用途地域の変更をした記憶があり、今、篠ノ井市民会館の建替えの話が出ているため、質問した。	用途地域の変更は、基礎調査などにより、地域の土地利用の不整合等を検証して進めていくものです。	土地利用		
篠ノ井	意見用紙について、篠ノ井には74地区あるが、すべての意見を住自協がまとめて報告するのか。	現行都市計画マスタープランの地域別街づくり構想の資料を参考に、地域のまちづくりの方向性として、地域から見た課題を意見としていただきたいものです。今回、頂いた意見は、地域街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	その他		
篠ノ井	夕方のバスが交通安全センターまでしか行かないため、使い勝手が悪い。おでかけパスポートでバスを利用して出掛けたくても、行きはいいが、帰りは交通安全センターから歩いて帰ってこなくてはならない。ぐるりん号もあるが、乗り換えの接続が悪いので利用できない。篠ノ井駅からまっすぐ東へ向うぐるりん号の運行本数を増やして欲しい。	コンパクト+ネットワークによる街づくりは、人口減少社会における施策であり、隣接する地域拠点間を公共交通を中心としたネットワークで連携することにより、一体的なまちづくりとするものであり、交通網の充実は重要な要素と考えています。地域街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	交通	参考	地域別街づくり構想
篠ノ井	長野市の空き家に対する対策はあるのか。	他部局で空き家の実態調査しております。この調査結果等により、危険空き家や利用できる空き家の実態調査を行い、空き家に対する対策を検討していきます。	土地利用		
篠ノ井	須坂市や千曲市で大型店舗の出店が検討されている。以前東福寺周辺で話があった時、長野市では許可できないということで計画がなくなったことがあったが、周辺に大型店ができることに対して長野市はどう考えるのか。	長野市の方針は、農業を守っていく区域である農振農用地では、新たな市街地開発を進めないものと考えています。	土地利用		

地区	地区の質問意見	市の考え方	分類	素案への反映	反映箇所
川中島	川中島地区全体でなく、それぞれの自治会で出前で勉強会開けば来てくれるか。計画が全体的なものだから、個々の地区それぞれは無理なのか。	現行都市計画マスタープランの地域別街づくり構想の資料を参考に、地域のまちづくりの方向性として、地域から見た課題を意見としていただきたいものです。今回、頂いた意見は、地域街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	その他		
川中島	この計画による地域のメリットは何か。ただ出来ただけでは身近に感じない。	地域の皆さまの理解しやすいものにしたいと考えています。	その他		
川中島	コンパクトなまちづくりは理解できるが、一方でハコモノをむやみに作っていくようなやり方も考え直してもらいたい。	他部局では、公共施設マネジメント指針を策定し、公共施設配置の最適化計画を策定しています。	都市機能		
川中島	生活拠点の具体的なプランも含めて考えていかなくてよいのか。	都市計画マスタープランは20年後の目標を想定して作っているもの。どうしても抽象的表現となっております。例えば、道路の維持修繕の要望では無く、将来の目標を、現状分析に基づいて示すものです。	拠点の形成		
川中島	都市計画マスタープランが出来上がると予算も連動するのか。	都市計画マスタープランでは、街づくりの将来ビジョンを示しております。直接的に財政的な裏づけをするものでもありません。	その他		
川中島	あくまで感想だが、川中島だけで27,000人が住んでおり、他市に匹敵する人口である。他市ならばそれだけでこういった都市計画マスタープランを策定するのに、長野市ではほんの一部の扱いであるというのが不満であり残念である。	市の中の各地域では、各地域には、特性による役割があります。各地域が連携することにより、市全体が活性化し、各地域の活性化を図れる計画として、都市計画マスタープランを策定していくものと考えております。	その他	参考	表現・記載方法
川中島	篠ノ井の計画も提示して欲しい。川中島地区であっても、例えば南部の御厨等に住んでいると、地形的に近いので連動する。	素案に併せて、他地区の地域別街づくり構想を公表し、パブリックコメント等で意見を聴取する予定です。	その他	参考	表現・記載方法
川中島	川中島駅の東側の、中抜けの白地部分等はどう扱われるのか。川中島駅の商業化は可能か。	市では、平成12年をピークに人口減少期に入っているため、都市全体の将来像を検討しますと、市街地を拡大する様な土地利用はできない状況であるとと考えております。	土地利用	参考	地域別街づくり構想
川中島	空き家も増えている。	地域街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	土地利用	参考	地域別街づくり
更北	都市計画マスタープランは20年の計画とあるが、社会情勢等の変化に対応する中長期的なまちづくりの計画も必要ではないか。	都市計画マスタープランの改定は10年単位、立地適正化計画は5年単位での改定を考えています。	その他		
更北	大型ショッピングセンター（須坂・千曲）、スマートIC（若穂）、西山地区の人口の急減等気になっているまちづくりに関する話題がある。	地域街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	その他	参考	全体都市づくり構想
更北	現行都市計画マスタープランの地域別まちづくり構想に書かれている「両岸の結びつきを検討する」という部分で、NTTのグランドから日赤病院へと続く道路の都市計画決定がいつの間になくなったがどうか。	都市計画決定した経過はありませんが、地域別街づくり構想において「両岸の結びつきを強化する方策の検討」という方針を示しております。	道路	参考	地域別街づくり構想
更北	地域では具体的な心配事として、農業後継者がいない農地が多いこと、交通の連携から漏れてしまっている地区があることが挙げられる。	地域課題として、地域街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	土地利用	参考	地域別街づくり構想
更北	下水道処理場の周辺で開発をしたい。	市では、平成12年をピークに人口減少期に入っており、都市全体の将来像を検討しますと、市街地を拡大する土地利用はできない状況であるとと考えております。	土地利用		
更北	市街化区域の拡大（南長野バイパス周辺）はできないのか。	市では、平成12年をピークに人口減少期に入っているため、都市全体の将来像を検討しますと、市街地を拡大する様な土地利用はできない状況であるとと考えております。	土地利用		
更北	市街化調整区域に指定されていてなにも出来ない。市街化区域では既に建物が多く建てられているため、空きスペースが少ない。更北地区は便利な所なので開発をできるようにしたほうが、地区のためになるのではないか。	市街化調整区域の開発基準があり、基準に合う範囲での土地利用を基本と考えています。市街化調整区域の集落では、地域コミュニティの維持を主体として、地域の人々の生活が守られ、地域に住み続けられることを目指す取組みを目標としています。	土地利用	参考	地域別街づくり構想
更北	交通の渋滞緩和について具体的な施策は考えているか。（特に丹波島橋）	地域別街づくり構想の（2）にあるように、「両岸の結びつきを強化する方策の検討」という方針を示しています。丹波島橋の渋滞対策については課題として、地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	道路	参考	地域別街づくり構想
更北	高齢化が進み、子どもの数は年々減少している。地区内にスーパーがないため生鮮野菜は自動車で購入に行かざるを得ないような町で、住み難い地区だと感じる。空き家も増加してきていて、先のない町と言える。	地域課題として、地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	土地利用	参考	地域別街づくり構想
更北	コンパクトで高齢者にとって住みやすい町、車を使わずに日常生活ができ、歩道橋をわたらずに移動できる環境になる様な都市計画マスタープラン作成を望む。	地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	土地利用	参考	地域別街づくり構想
更北	県道長野真田線の沿線における高速バス等利用者のための自家用車駐車用ターミナルの整備について検討を願う。		交通	検討	

地区	地区の質問意見	市の考え方	分類	素案への反映	反映箇所
松代	松代地区は全人口が約18,000人だが、そのうち市街化区域に住んでいるのは8,000人弱で、過半数は市街化調整区域や都市計画区域外に住んでいる状況である。人口を増やしたくても土地利用の規制があり難しい。根本的な問題がある。	地域課題として、地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	土地利用	参考	地域別街づくり構想
松代	松代地区の中心に周辺の地域からアクセスする手段がなくなってしまうと、高齢化する状況のなか困ったことになる。ネットワークの環境整備が必要ではないか。	コンパクト+ネットワークによる街づくりは、人口減少社会における施策として、隣接する地域拠点間を公共交通を中心としたネットワークで連携することにより、一体的なまちづくりとするものであり、交通網の充実は重要な要素と考えています。地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	交通	参考	地域別街づくり構想
松代	現行の都市計画マスタープランに記載がある事項のうち、「高速道インターチェンジ直結を生かした産業・観光施設の立地促進」について、進捗が見えない。特に産業の分野については、地元地区でも様々な意見があり前に進めていない状況にある。	地域課題として、地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	土地利用	参考	地域別街づくり構想
松代	他の「地域拠点」は全て鉄道駅があるなか、河東線の廃止により松代のみ駅がない状況である。本当に松代が拠点なのかという話になってしまう。地元要望しているLRT（次世代型路面電車）等の交通軸について具体的に書き込んで欲しい。	コンパクト+ネットワークによる街づくりは、人口減少社会における施策として、隣接する地域拠点間を公共交通を中心としたネットワークで連携することにより、一体的なまちづくりとするものであり、交通網の充実は重要な要素と考えています。地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	交通	参考	地域別街づくり構想
松代	長野市文化財課の支援により、歴史的文化財の整備は相当進行しているが、元々観光都市の基盤がなく、中心市街地の商業活動は沈静化している。高速道ICが地区にはあるが、長野市中心部へのアクセスのみの用途となっている。	地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	その他	参考	地域別街づくり構想
松代	若い人たちは、公共交通の利便性の高い地域へ転出するため、高齢化率が上がり地域の活力が弱まっている。長野～松代間のバス路線は、ある程度利用者はあるものの、減少傾向にある。LRTを導入することで利便性の高いまた安価で利用できる公共交通ネットワーク化を実現することは、長野市全体のパワーアップにも繋がるものと確信している。	コンパクト+ネットワークによる街づくりでは、地域拠点間を連携する公共交通網の充実は重要な要素と考えています。地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	交通	参考	地域別街づくり構想
松代	長野電鉄屋代線が廃止となり、河東地域は鉄道の空白地域となった。代替バスの利用率は屋代線の約50パーセントまで落ち込み低迷している。屋代線跡地等を活用したBRT（バス高速輸送システム）の導入が必要ではないかと考える。また、松代～篠ノ井間の廃止代替バスも利用率が低迷している。廃線代替バスに替わる「ぐるりん号」等の導入も必要だと考える。	コンパクト+ネットワークによる街づくりでは、地域拠点間を連携する公共交通網の充実は重要な要素と考えています。地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	交通	参考	地域別街づくり構想
松代	松代地区周辺に大型商業施設が増えており、松代町内の商店街に大きな影響を与えている。	地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	都市機能	参考	地域別街づくり構想
松代	松代に観光に来た人が観光のみに終わってしまっている。観光都市への移行には従来の都市計画や歴史的建造物の復元等ではなく、旧松代駅及びその周辺を拠点とした観光案内、飲食業、みやげ物の販売、駐車場の整備等が必要である。用途地区設定と周辺農地の他の用途への活用を考える必要がある。	関係部局と調整し、地域街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	土地利用	参考	地域別街づくり構想
松代	松代地区には雇用を創出する企業がすくないため、地区外に働きに行く人が圧倒的に多い。優良企業の起業化や誘致が課題である。	関係部局と調整し、地域街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	土地利用	参考	地域別街づくり構想
松代	将来像として人口減少と高齢化の進むなかコンパクトシティ化され、各地域が公共交通ネットワークで結ばれた長野市をイメージする。長野市第4次総合計画の「多核心連携を目指したコンパクトなまちづくりの推進」を都市計画課が中心になって確実に進めて欲しい。また、長野都市圏内の新たな公共交通ネットワーク化についても、長野市がリーダーシップを発揮し、近隣市をまとめて欲しい。	他部局で策定している総合計画や長野地域スクラムビジョン」（長野地域連携中枢都市圏ビジョン）等と連携した計画策定を検討します。地域街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	その他	参考	表現・記載方法
松代	松代のイメージを高めるため、高速道のインターの名称を「長野・松代IC」と名称変更する。若穂地区にスマートICを作るときに実現する。	地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	道路		
若穂	現在、若穂地区においては、スマートIC構想をはじめ、道の駅や千曲川堤防道路嵩上げ等に向けて、大きな動きがあり、それら全てが関わりあっている状況である。スマートICの構想について国との協議を行う上で、都市計画マスタープランとの整合性が問われることも考えられる。市とは道路課を通じて話をしているので、そちらとも調整をお願いしたい。	スマートIC構想について、関係部局と情報共有し検討していきます。地域別街づくり構想策定への記載を検討します。	道路	検討	地域別街づくり構想

地区	地区の質問意見	市の考え方	分類	素案への反映	反映箇所
若穂	スマートICの計画次第では、地域の課題や交通の状況も変わり、街づくり構想のイメージも変わってくるのではないかと。できればスマートICの構想が固まってきたところで計画を見直して欲しいが、いずれにしても若穂地区の動向を気にして欲しい。	都市計画マスタープランの基本方針は、目標年次を20年後に定めており、平成19年の改定から大きく変化するものではないと考えていますが、頂いた意見を地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	土地利用	反映	地域別街づくり構想
若穂	若穂はほとんどが市街化調整区域だが、区域図のピンク色で囲まれた部分のみの計画なのか。	立地適正化計画の居住誘導区域の想定エリアは、市街化区域に設定することが基準となっております。	土地利用		
若穂	若穂地区には、綿内、川田、保科等の地区があるが、都市構造図には、それらの記載が全くされていない。これは若穂地区には生活拠点や生活中心地が全くないということか。若穂地区について全く記載がないというのはおかしい。何とか工夫する等して表示してもらいたい。	資料の都市構造図は、主な生活拠点や生活中心地を表示したものです。若穂地区では、市街化区域になる綿内が生活拠点、川田等の市街化調整区域内の地区については、生活中心地として地域の中心的エリアを想定しています。地域街づくり構想策定では、地域の皆さまの理解しやすいものになりたいと考えています。	その他	参考	地域別街づくり構想
若穂	若穂と松代を結ぶ軸は、現行都市計画マスタープランでは歴史交流軸であったと思うが、今回地域交流軸となったのはどうしてか。	現行の都市計画マスタープランと今回の改定では、都市の軸について、現状分析し、分類上の名称を変更しましたが、軸の必要な機能は、同等と考えております。	その他		
若穂	地域別構想について、ここに記載されたことは市で全部やってくれるということか。	都市計画マスタープランは、20年後の目標を設定し、街づくりの方針を示すものであり、記載事項を直ぐに事業化する訳ではありませんが、概ね10年毎に見直しを行い、追加・削除を行います。	その他		
若穂	例えば都市計画道路についても、計画はあっても進捗しない路線もある。若穂川田は松代と一緒に歴史的風致維持向上計画（歴まち計画）も策定されたが、これも具体的な整備には結びついていない。人が多いところの利便性だけを考えると、こちらはおざなりにされている気がする。他の地区と同じように進めていって欲しい。	市域全体の計画では、市域全体の整備状況を検証し、計画的な事業化に向けた取り組みをしておりますが、事業化には長期間を要しております。今後も計画的に事業を推進することに努めていきますので、現状でご理解いただきたい。	その他		
若穂	生活拠点と生活中心地の違いとはどのようなものか。	生活拠点は、市街化区域に設定するもので、都市機能の集積・維持をする中心地という位置付けになり、若穂地区では綿内が想定されます。また、生活中心地は、市街化調整区域に設定し、区域内の既存集落の生活圏において、中心となるエリアについて想定しています。	拠点の形成		
若穂	居住誘導区域というのは、以前から設定されていたのか。	立地適正化計画という新たな制度により、新たに設定するものです。	土地利用		
若穂	こういった計画を示すだけで具体的な整備に結びつかなければ、意味がないのではないかと。また市街化区域となっている綿内だけでなく、須坂長野東IC付近も若穂地区であり、工業団地等もある。川田や保科等の地域も若穂地区には重要な場所だ。	須坂長野東IC付近には工業系の用途が指定されている所他、市街化調整区域となっています。市街化調整区域は、農林業等の産業を推進する地域であり、全ての土地利用が都市化を目指すものではありません。	土地利用		
若穂	この区域図は若穂周辺の図だが、他の地域でもこういった区域はあるのか。	他の地区でも同様に想定区域を設定し、住民自治協議会32地区で地域別懇談会を開催し、ご意見を伺っています。	土地利用		
若穂	区域図に赤丸を示しているがその意味は何か。	バスの運行頻度が高い路線を表示しております。コンパクト+ネットワークによる街づくりは、人口減少社会における施策であり、隣接する地域拠点間を公共交通を中心としたネットワークで連携することにより、一体的なまちづくりとするものであり、交通網の充実は重要な要素と考えており、併せて示したものです。	その他		
若穂	このような計画を立てれば、例えば東京一極集中のようになり、それ以外の所はさびれていってしまうのではないかと。	市の中の各地域では、各地域には、特性による役割があります。各地域が連携することにより、市全体が活性化し、各地域の活性化を図れる計画として、都市計画マスタープランを策定していくものと考えています。	その他		
若穂	若穂地区では、居住誘導区域以外については、何かするたびに更に届出が必要になるということか。余計な手間が増えるのか。	届出は必要になりますが、その対象は3戸以上の住宅開発等一定規模以上まとめて行う場合であり、個人の住宅等1軒ごとに行うものは対象となりません。また、長期的に緩やかな誘導を図ることが目的です。	その他		
若穂	区域図は想定ということだが、こちらからの意見により変更の余地はあるのか。	地域の現状と都市の将来像を勘案し、想定しております。居住誘導区域は、市街化区域の中で定める制度になり、若穂地区では、居住誘導区域と市街化区域が同等となっておりますので、制度主旨上これ以上の拡大は出来ないものと考えています。	その他		
若穂	誘導施設というのは具体的にどういう施設なのか。	公共施設のほか、医療や商業施設等が制度上の対象となる施設です。	都市機能		
若穂	スケジュールによると11月までに素案を作成するということが、このような説明の機会はまた設けられるのか。	住民自治協議会32地区で懇談会を行って、各地区からの意見を素案作成の参考にさせていただきたいと考えています。今後は、説明会を開催せず、計画素案を公表し、パブリックコメントや公聴会などにより、意見聴取をしていく予定です。	その他		

地区	地区の質問意見	市の考え方	分類	素案への反映	反映箇所
長沼	今回の資料を見ると長沼地区を軽んじているように思える。どうしたら人口が増えるか等の意見を持ってくるべきではないか。地域のなかでも少子高齢化に困っている。荒れた農地も増えているし、人口を増やすためにも農振を外して欲しい。どういった意見を言えば現在の線引き（市街化区域）に影響してくるのか。	市では、平成12年をピークに人口減少期に入っており、都市全体の将来像を検討しますと、市街地を拡大する土地利用はできない状況であると考えております。少子高齢化等の地域課題について、地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	土地利用	参考	地域別街づくり構想
長沼	市民は都市計画マスタープランを知っているのか。支所に置くなり、もっとPRが必要ではないか。	現行都市計画マスタープラン改定時に広報し、一般にも販売しております。また、市HPでも公表していますので、現状でご理解いただきたい。	その他		
長沼	老年人口は長沼が1番多いのか。	資料の北部地域では多い。市全体では他に多い地域はありますが、他の地域は山間地等です。	その他		
長沼	現在の北部地域と言われる地域は、何か決まりがあるのか。	平成19年改定の資料を引続き使用しているため、特に決まりはありません。今回、地域分けについても、今回の改定で検討していく必要があると考えています。	その他	参考	表現・記載方法
長沼	今日の懇談会は何が目的なのか。	都市計画マスタープランとは市全体の計画を示したものであり、その中に各地域別の街づくり構想がある。根底にある各地域ごとの意見を伺い、都市計画マスタープラン改定の参考としたいと考えています。	その他		
長沼	公共サービスを効率的に受けられるためのコンパクトシティとあるが、若槻地区や豊野地区へ移転を進めていて、長沼には人口を増やす気がないように聞こえる。	人口減少社会における施策であるコンパクト+ネットワークによる街づくりは、地域特性を踏まえ、地域毎の役割を検討し、各地域が連携した一体的な街づくりとするものです。長沼地区では、今後も集落運営を持続可能とする街づくりに取り組みが必要と考えています。	土地利用		
豊野	相続が絶えて耕作放棄地が増えている。10～20年後には市街地でも大きな問題なのでは。	地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	土地利用	参考	地域別街づくり構想
豊野	前回の検討から10年経ったということだが、その結果についての検討や分析はしているのか。やっているのであれば、その報告はないのか。進捗は気になる部分だ。進捗率何%等の表示があれば分かりやすいと思う。	現行都市計画マスタープランの現状分析は行い、分析結果は、市ホームページで公表しています。資料の記載方法は、地域の皆さまの理解しやすいものになりたいと考えています。	その他	参考	表現・記載方法
豊野	豊野でも山間部に住んでいるのだが、このような地域についてはどう都市計画とマッチングしていくのか。	日常生活を例として、山間部から、都市部の病院、公的施設等の便利施設や公共交通機関等を利用する機会はあるため、山間部と都市部が連携した街づくりが重要と考えております。	拠点の形成	参考	地域別街づくり構想
芋井	歴史交流軸とは何か。軸が中心から行きっぱなしにみえるが、信濃信州新線等の回遊の視点はありますか。	現行都市計画マスタープランと比べて、交流軸として、特に、歴史や観光の交流や繋がりが強い軸を表示したものとしています。	その他	参考	全体都市づくり構想
芋井	少子高齢化が進んでいる。飯綱高原地域以外ではもっと高齢化率が高く、世帯数・人口共に減少していると思う。空き家、耕作放棄地が増えている。	地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	土地利用	参考	地域別街づくり構想
芋井	空き家を活用し定年退職者を中心にIターン、Uターンを受け入れ、農業をしてもらい農地を維持する。高齢者が安心して通行できるような道路の整備が必要だと思う。	地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	道路	参考	地域別街づくり構想
芋井	一の鳥居線（七曲り）は急カーブで傾斜がきつく、危険である。斎場へ行くマイクロが多く利用し、混雑するのでバードラインを復旧して欲しい。	地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	道路	参考	地域別街づくり構想
七二会	七二会地区とすれば資料3にある西部山間地区の分類は馴染が薄い。中条・信州新町・小田切のほうが交流がある。特に信更地区は違和感を感じる。「中山間地域」や「西部西山地区」等、さまざまな呼ばれ方をすることが定義があるのか。	「西部山間地区」は都市計画マスタープラン独自の書き方である。地域の分類は、いただいた意見を参考に改めて検討します。	その他	参考	地域別街づくり構想
七二会	七二会に都市計画は馴染まない。直接の関係性が感じられない。資料3には、都市の外縁部として都市を守り・支えるという観点で、今後も現状が維持できるような記載をお願いしたい。	地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	自然環境・都市環境・景観	検討	地域別街づくり構想
七二会	遊休・荒廃農地の増加（平成19年時点より更に増加）。このままでは更に増える可能性が大きい。	地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	土地利用	参考	地域別街づくり構想
七二会	交通弱者（特に高齢者）の移動手段の確保が必要である。高齢者の移動手段について、本人と行政とタクシー会社の三者でそれぞれ応分の負担をし「ドアツウドア」の理想の移動手段が実現できたらいいのではないのか。	移動手段の確保について、関係部局と調整し、地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	交通	参考	地域別街づくり構想
信更	資料3の現行都市計画マスタープランに記載のある課題について、どこまで解消・解決できたのか。信更地区は、この10年間で道路整備等は全く進んでいない感覚である。	現行都市計画マスタープランの現状分析は行い、分析結果は、市ホームページで公表しています。ただし、マスタープランでは施策を記載したもののため、個別施策の進捗を示すものではなく、現状を示す内容となります。	その他	参考	地域別街づくり構想

地区	地区の質問意見	市の考え方	分類	素案への反映	反映箇所
信更	県道の道路改良が、なかなか進まず懸案事項である。信州新町・大岡地区と一緒に同盟会を作り県に働きかけている。都市計画マスタープランに位置付けられるのであればお願いしたい。	地域の課題として、地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	道路	参考	地域別街づくり構想
戸隠		現行の記載を施策状況や経年変化など現状分析結果により、地域別街づくり構想を検討します。	その他		
鬼無里	都市計画マスタープランは、実際の事業の予算配分等に影響するような計画なのか。	まちづくりの方向性を示すもので、個別の事業の予算化とは直接関係するものではありません。	その他		
鬼無里	中山間地域では、「まちづくり」の観点だけでなく、「国土の保全」という観点も重要であり、そのなかで森林の管理や保護が入ってくるのだと思う。	地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	自然環境・都市環境・景観	参考	地域別街づくり構想
鬼無里	鬼無里地区は、先人が植林をし森林を創ってきた。森林の面積も広く、これらの地域の宝を有効に活用したいと考えている。バイオマス等で地域の雇用を創出して、みんなが暮らしていけるような方向で考えいきたい。	地域資源の有効利用について、関係部局と情報共有し検討していきます。地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	土地利用	検討	地域別街づくり構想
鬼無里	確かにコンパクトにして管理しやすいことはそれはそれでいい事だが、皆が同じ様な悩みで“ロダン状態”をいつまで続けていてもらちがあかない。小さくていい事は小さく、めんどくさい大きい事は目玉と首をよく動かして見て欲しい。		その他		
鬼無里	少子化はもちろんだが、若い年代の人が少ない。その分高齢者が右肩上がりである。鬼無里地区はそれでも診療所や支所・商業施設が近辺にあるので普通の生活は確保されているが、将来的には、交通弱者や買い物弱者が増加する恐れがある。	地域の課題として、地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	拠点の形成	検討	地域別街づくり構想
鬼無里	せっかくぐるりん号があるのだから、長野市の特権だから誰にも渡さない等と言わず周辺市町村を巻き込んだコースを考えてもいいのではないか。	関係部局と情報共有し、検討していきます。地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	交通	検討	地域別街づくり構想
鬼無里	地区内の交通バスのきめ細かい運行ダイヤや市街地へのバスとの連携が欠かせない。	公共交通計画は、関係部局と情報共有し、検討していきます。また、地域別街づくり構想への記載を検討します。	交通	参考	地域別街づくり構想
鬼無里	地区内でも地すべり区域があるが、災害防止のための整備推進・予防・応急体制の充実が必要。	地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	防災・安全	検討	地域別街づくり構想
鬼無里	資料3の「鬼無里地域整備方針図」の林道大川線箇所に次の記載を追加。「奥裾花自然園や屋裾花溪谷へのアクセス道路である林道大川線の整備充実」	関係部局と情報共有し、検討していきます。地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	道路	検討	地域別街づくり構想
鬼無里	長野の街は善光寺さんの町なので人の流れ、物の流れが大事である。ひまわり公園旧球場はパーキングにして、信大教育学部前までトンネルでつなげばいい。教育施設圏、観光圏、ビジネス圏、住宅圏、工業圏という考え方もありではないか。	施策提案として参考とさせていただきます。	土地利用		
鬼無里	あまり期待は出来ないが、若者が居住できる様な生活拠点が地区内にできないか。空き家の整備対策等が必要である。	空き家活用については、関係部局と連携し、地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	拠点の形成	参考	地域別街づくり構想
鬼無里	・人口減少と高齢化が進んでいる	中山間地域の課題として、地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	その他	参考	地域別街づくり構想
鬼無里	・森林資源の整備ができていない	地域資源の活用については、関係部局と連携し、地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	土地利用	参考	地域別街づくり構想
鬼無里	・日本中どこでも少子高齢化の話ばかりで日本の政治最大の課題です。当地区も昭和40年代までは36戸で140人余の人口でしたが今では16戸31人となり70歳条が16名で、更にもその内10名が80歳以上です。そして一人暮らしが7戸あり、あすからの集落の機能が果たせるのかと何をとっても過大が山積です。	中山間地域の課題として、地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	その他	参考	地域別街づくり構想
鬼無里	・人口減少、高齢化、空き家、休耕田の増加	地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	土地利用	参考	地域別街づくり
鬼無里	・森林資源の整備と活用	地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	土地利用	参考	地域別街づくり
鬼無里	・国道406号の整備により通勤、通学のしやすい環境作り	地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	道路	参考	地域別街づくり
鬼無里	・当地区にも幸いに8年前に都会から家族4人で空家を購入して住み着いた例もあり、子供も一人生まれ大変喜ばしい事ですが、当地区の今の大部分は後継者は帰住しないと思うにつけこの様な事例が多く出来ることを期待するものです。	地域の現状と課題として、地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	その他	参考	地域別街づくり構想
鬼無里	・空き家、休耕田の有効活用	空き家活用については、関係部局と連携し、地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	土地利用	参考	地域別街づくり構想
鬼無里	・現在の山村環境からして後継者に帰って来いとは言えないのが現況だと思えます。	地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	その他	参考	地域別街づくり構想

地区	地区の質問意見	市の考え方	分類	素案への反映	反映箇所
大岡	都市計画マスタープランの目標年次である20年後の大岡地区の姿を具体的にイメージ出来ているのか。地元では、人口が激減しており将来像をイメージすることが難しいような状況になっている。	今回の地域懇談会で、地域の現状・実状等についても聞かせていただきたいものと考えています。また、「小さな拠点づくり」という地域の生活を守る取り組みをしていくことも、地域の将来像を検討することになると考えています。	その他	参考	地域別街づくり構想
大岡	役員の担い手が少なく、地域の活動をするにも厳し状況にある。住自協の仕事が多く、役員が疲弊している。支所に職員を配置して事務の軽減を図って欲しい。	地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	その他	参考	地域別街づくり構想
大岡	人口が合併前の3分の2になってしまい、何を行うにも大変な状況である。地域の課題は前回の都市計画マスタープラン（資料3）と変わりはない。	地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	その他	参考	地域別街づくり構想
大岡	人口が減っており、将来は誰もいなくなるのではないかと。効率化の観点から施設の維持も難しいことも承知している。施設の統廃合もやむを得ない部分があるが、生活を守る視点からいけば、集落ごと集団で移転するぐらいのことを市が主導して考えていかなければいけないのではないかと。	地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	拠点の形成	参考	地域別街づくり構想
大岡	都市計画マスタープランに載ることが、事業の予算化や補助金の確保等に直接影響するものものなのか。	まちづくりの方向性を示すもので、個別の事業の予算化とは直接関係するものではありません。	その他		
大岡	小さな拠点のアンケートを実施する前に、組長に目的等を説明する機会を設けて欲しい。	「小さな拠点」づくりの住民アンケートについては、別途説明会等を検討しています。	その他		
大岡	年々人口減少が進み主産業での農業も減っている。地区内はほとんどが70歳以上である。地域生産力の向上等考えられない。若者は都市部で生活していて、職を辞して大岡で生活は出来ないのが現状である。今後老人をいかに生活を維持し定住していけるのが課題である。	地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	その他	参考	地域別街づくり構想
大岡	根越地区の現在での人口は、ほぼ100名であり、その中で60歳以下は約20名、その中で50歳以下は8名である。今は住民の努力や協力、また行政サービスにより個人及び地区が成り立っている。しかし、高齢化ゆえに個人の負担が多く役員の成りてが少なく、自治活動が厳しくなっている。	地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	その他	参考	地域別街づくり構想
大岡	人口減少、少子高齢化が著しく進み、また世帯数が減少しているため、集落の機能の維持や区の運営が困難な状況である。特に役員の対応に苦心している。住民自治協議会でいくら検討しても克服できない。行政にすぎるしかない。また農地の畦畔が急傾斜地でありため草刈作業が出来ず、更に鳥獣被害が重なり耕作をしないための荒廃地が増加している状況である。	地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	その他	参考	地域別街づくり構想
大岡	地区の高齢者は今後、保育園小・中学校、観光、公共施設や公共交通の利用が少なくなり、なくなっていくことを思うと、地区の将来が全く考えられない。人口増加地区の周辺へ移住するか、介護施設へ共同利用で住む等を考える。大岡へ子供達が帰って来て農業で暮らせる資金も、平らな農地もなく、生活できない。都会より退職後に1代のみが住むぐらいの考えが多い。何の産業おこしも現状では考えられない。	地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	拠点の形成	参考	地域別街づくり構想
大岡	ほとんどが80歳以上その中で考えられることは、福祉、交通、娯楽等のサービスの充実。	地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	拠点の形成	参考	地域別街づくり構想
大岡	全ての事業（補助等）を一律に統一の見直しの検討が必要である。中山間地域と平地の地域差をの考慮がされないと、ますます中山間の過疎化の進行は止まらないと考える。「地域いきいき運営交付金」の活動費補助について、継続をお願いしたい。	地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	その他	参考	地域別街づくり構想
大岡	大企業の資産家等による農業職種で働く若者も居住できる賃金体系ができるか。または大岡地区への墓地や公園等の維持管理に係る雇入による経済維持の出来る体系や自宅でインターネット等の利用で生活できるような企業誘致が必要である。住民では大きな資産や資金、土地開発の意欲は望めない。水と空気と影観、年金だけでは生活出来ない。若者（50歳代以下）の担い手がない大岡地区で子育て・福祉は出来ない現状である。	地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	土地利用	参考	地域別街づくり構想
信州新町	資料2の「美術館・博物館・動物園」が1施設となっている。信州新町には美術館や化石博物館等複数あるが、どういう数え方なのか。	他都市との比較を前提に、国土数値情報を利用して、市域全体の基礎データを策定し、このデータを地域別に振り分けた参考資料です。	都市機能		地域別街づくり構想
信州新町	都市計画マスタープランは市の事業計画に反映されるのか。	都市計画マスタープランの街づくりの方針により、市の事業計画を策定していく場合もあります。	その他		
信州新町	今後、信州新町地区で都市計画マスタープランについての懇談会を行う場合、また説明に来てもらえるか。	他の地域でも、基本的に、一度の説明とさせていただきます。不明な点等があれば、意見書にて提出をお願いします。	その他		

地区	地区の質問意見	市の考え方	分類	素案への反映	反映箇所
信州新町	ワークショップの結果をまとめた資料があるので、これも意見の一つとして参考にしてもらえればと思う。	地域別街づくり構想策定の参考とさせていただきます。	その他	参考	地域別街づくり構想
中条		施策状況や関係部局の計画などを現状分析し、地域別街づくり構想の策定を検討します。	その他		